

飛鳥資料館開館40周年記念 秋期特別展「キトラ古墳と天の科学」

飛鳥時代、天体を観測し、暦をつくり、時を計ることは、支配者の重要な役割でした。中国や朝鮮半島から伝えられた最先端の知識が、天の科学と呼ぶべき科学技術のもとになっています。キトラ古墳の天文図、水落遺跡の漏刻、石神遺跡の具注曆木簡等は、飛鳥時代の天の科学の実態を知ることができる貴重な資料です。

また、石神遺跡から出土した須弥山石も支配者の権力を表すものでした。世界の中心を象徴する須弥山石の周りで蝦夷や外国使節の饗宴、儀礼をおこなうことで、支配の正当性を誇示したのです。飛鳥時代の天の科学は平安時代以降の仏教美術や近世の天文学にもつながっていきます。

今回の展覧会では、キトラ古墳天文図にかかわる最新の研究成果を中心に、考古資料と天文関係資料・美術品等を紹介しながら、飛鳥時代の天の科学に迫ります。

(飛鳥資料館 石橋 茂登・西田 紀子)



会 期：10月9日(金)～11月29日(日)会期中無休

開館時間：9：00～16：30(入館は16：00まで)

講演会：10月31日(土)13：00「キトラ古墳と天の科学」 於：明日香村中央公民館(明日香村川原91-1)公共交通機関をご利用下さい。

高柳 雄一(多摩六都科学館)・中村 士(大東文化大学東洋研究所)・相馬 充(国立天文台)ほか

ギャラリートーク：10月16日(金)、11月15日(日)各日10：00～、15：00～

ホームページ：<http://www.nabunken.go.jp/asuka/> お問合せ：☎0744-54-3561(飛鳥資料館)

編集 「奈文研ニュース」編集委員会
発行 奈良文化財研究所 <http://www.nabunken.go.jp>
Eメール jimu@nabunken.go.jp
発行年月 2015年9月